



[ハマーH2] GM

HUMMER H2

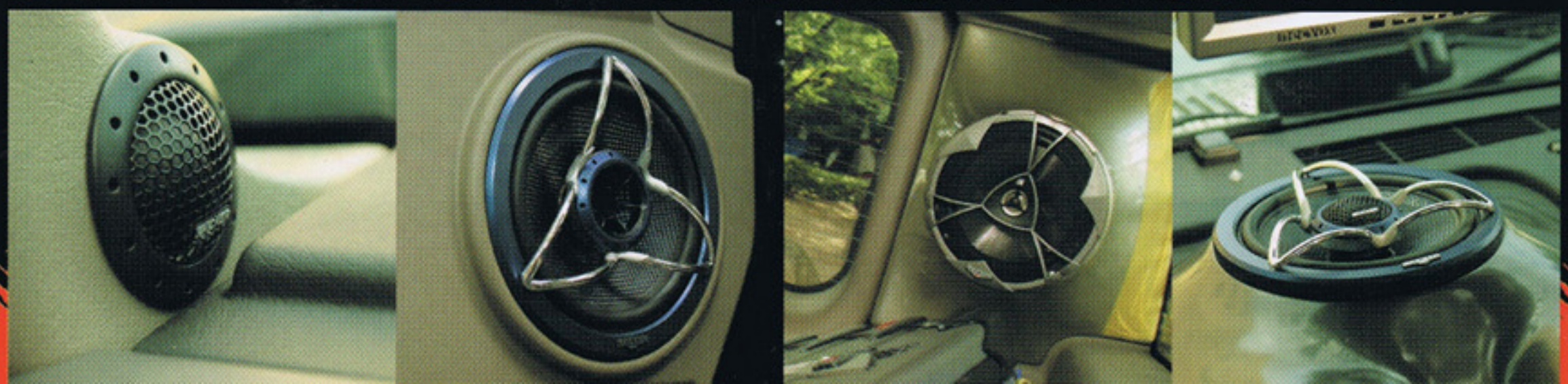


ドロドロと血液が循環する 超ヒップな オーディオ空間

HOT WIRED

ド迫力のオーディオで迫るこのハマー。キッカーで固められた超低音空間にモニター群でショーアップされている。そして何より目に付くのがその赤い管。中には液体がドロドロと循環し、なにやら怪し気な雰囲気。しかしこれは単なる飾りではない。液体の正体は、なんとエンジンを冷やすときに用いられるクーラントだったのだ。つまり、より高音質で音を再生するために各アンプの下に水枕を敷き、その中をクーラントが循環、熱くなったアンプを冷やすという仕組み。まさに実用性とエンターテイメント性を兼ね備えたアイデア賞モノのシステムだ。

各スピーカー&ツイーターの作り込みもハイレベル。全体でひとつのオーディオ空間を作り出していることを物語っている。一番右はダッシュ上のセンタースピーカーだ。



モニター多連装で魅せるインテリア



15インチのフリップダウンを筆頭に、ヘッドレスト、サンバイザー、ルームミラー部、インダッシュと計7つのモニターで飾られたインテリア。ラゲッジ部に負けじとショーアップされている。



ルーム照明付近のスイッチはバックカメラとフロントカメラの映像を切り替えるためのもの。



バッテリーは全部で4つ。場所が場所だけに設置に苦労したのがリヤホール間のバッテリーだ。



●ベースカー：04年式 ハマーH2 ●エクステリア：スノーボードキャリア ●オーディオ：ヘッドユニット=アルパイン/サンバイザーモニター×2/ヘッドレストモニター×2/センターモニター/フリップダウンモニター/アンプ=キッカー×3/サブウーファー×4etc

製作：ホットワイヤード
 ☎052-262-8831
 愛知県名古屋市
 URL：<http://hotwired.fc2web.com/frame.html>

ハマーでは珍しく、スノーのキャリアをセットしている。ハマー本来のアグレッシブさを際立てるアイテムだ。



Photo—上田和剛

タイヤは265/45というサイズをセットし、パワフルなイメージを全体に与えている。

JAY LUG 攻略法 | 超新カスタム図報

Part 1 LUV [エル・ユー・ブイ]

TOYOTA・ハリアー | HOT WIRED

DATA

●ベースカー: 97年式 トヨタ・ハリアー ●オーナー: アーキー ●ボディカラー: パール ●サスペンション: ビルシュタイン ●ホイール: リバーサイド アルトシュタッド EXE F=20×8J R=20×8J ●タイヤ: スコーピオン F=265/45 R=265/45 ●オーディオ: ヘッドユニット=ADDEST DXZ835MP/5.1CH サラウンドプロセッサー=ADDZEST DVH920/DVD チェンジャー=ADDZEST VCZ625/ナビゲーション=DENSO /インダッシュモニター=DENSO 7インチワイド/メインモニター=PANASONIC 8インチワイドVGA/キャパシター=LIGHTNING AUDIO STRIKE 1.0F/センタースピーカー=JL AUDIO VR650-CXI/フロントスピーカー=JL AUDIO VR650-CXI/サラウンドスピーカー=JL AUDIO VR650-CXI/サブウーハー=JL AUDIO 12W0-8 ×4/パワーアンプ=AUDISON LRx6SRなど

製作: ホットワイヤード
 ☎052-262-8831 愛知県名古屋市
 URL: <http://hotwired.fc2web.com/frame.html>

このハリアーを製作したのは、ハイレベルなオーディオメイクで知られる名古屋のホットワイヤード。数々のイベントで活躍するハイクオリティなインストレーションは、ハリアーという難易度の高い車種でさえ、この通りのスーパーオーディオカーに仕上がった。このオーディオシステムのポイントは、まず純正機能をうまく生かしているということにある。ダッシュにヘッドユニットとモニターを埋め込んだ分、純正オーディオとエアコン操作パネルはワンドアのセンターコンソールに移設。通常ハデなオーディオメイクでは利便性は全く無視ということが多いが、このハリアーはそうではない。そして音質の追求のため、スピーカーはすべて同一ブランドの同一グレードで統一。そしてこの5.1chシアターシステムを長時間楽しむためにシートは全てレカロでまとめ、大人4人がくつろげる空間を作り出している。





近未来空間へと生まれ変わったラゲッジルームのオーディオ空間。JLのサブウーファーを4発も搭載し、本格的な5.1chシアタールームを演出している。



ここが自慢のカスタムセンターコンソール。純正のオーディオ&エアコン操作パネルが移設されている。デジタルビデオで撮った映像もそのまま流せるようにジャックも搭載しているのだ。



ハリ
ア
ー
オ
ー
ナ
ー
必
見
の

お
手
本
イ
ン
ス
ト
ー
ル



センターコンソールボックスもご覧の通り。細部にまでメタリックシルバーで統一するコンセプトが行き届いているのだ。



ルームミラー部分に取り付けられた8インチのワイドモニターは上下左右に自在にスイングするというスグレものだ。



センタースピーカーはJL AUDIOのVR650-C Xi。ここもシルバーでペイントされリヤからフロントにかけての統一感を出している。



タッチパネルモニターとアゼストのヘッドユニットはごく自然なインストール。ラゲッジからのシルバーカラーで統一されている。



インテリアは15インチのフリップダウンモニターをメインに、ハイザーと小型のフリップダウンモニターでド派手に飾っている。

》》 MITSUBISHI デボネア

●ベースカー：93年式 ミツビシ・デボネア ●オーナー：奥村健さん
 ●エクステリア：アルジェノン サンセットイエローLED ●ホイール：レーヴェンハートLD1LX F&R=20×8.5J ●タイヤ：ヨコハマDNAGP
 サイズ：F&R=245/35 ●オーディオ：ヘッドユニット=ナカミチ TD45&CD35/アンプ=ロックフォード/ウーファー=ロックフォード/フリップダウンモニター=15インチワイド/フリップダウンモニター=7インチワイド/サンバイザーモニター=7インチ×2/アルバインDVDチェンジャー

Photo——上田和則

ヘッドユニットはナカミチを選択し、DVDチェンジャーは助手席のダッシュボードに埋め込んだ。あくまで自然なインストールだ



セオリ―無視でも
 空気は演出可能!?

とことんUSにこだわるのもラグジュアリーの楽しみだけど、こんな楽しみ方も面白い。ベースはミツビシの最上級サルーンデボネア。ハイクオリティーなオーディオ。オメイクでベース車のイメージと大きなギャップを創り出したのが最大のポイントだ。ラグのセオリ―を理解した上で、自由に楽しんでいる空気が、このクルマには宿っている。

ツウなクルマに
 15インチの
 迫力モニター

製作：ホットワイヤード ☎052-262-8831 愛知県名古屋市



ノーマル然としたルックスだけど、ホイールはレーヴェンハートLD1LXの20インチをセット。誰もが驚くマッチングだ。